PUBLIC

未来を拓くグランドデザイン

株式会社クラウドネイティブ

2024.09.27

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

自己紹介

氏名：吉田 ひろかず

所属：株式会社クラウドネイティブ

役職：取締役

肩書：シニアセキュリティスペシャリスト

サイバーセキュリティスペシャリスト

領域：データガバナンス, ゼロトラストセキュリティ,

SIEM, EDR, SASE, DLP, IPS/IDS/WAF, GenAI,
CSIRT, PCIDSS, ISMS, 個人情報保護 ... etc

ライフワーク：実装・運用できるセキュリティの実現

コミュニティ：日本AWS User Group セキュリティ専門支部

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

会社概要

社名	株式会社クラウドネイティブ
設立	2017年5月
従業員数	33名 (2024年9月27日 現在)
役員	代表取締役　齊藤 慎仁 取締役　　磯邉 和彦 取締役　　吉田 浩和 取締役　　伊藤 歳記
所在地	〒106-0032 東京都港区六本木1-4-5 アークヒルズサウスタワー 16F

クラウドネイティブ
CLOUD NATIVE INC.

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

代表プロフィール

齊藤 慎仁
さいとう しんじ

株式会社クラウドネイティブ
代表取締役社長

2022年7月～
文部科学省
最高情報セキュリティアドバイザー

取得経験のある認証

- ISO:20000 ITSMS
- ISO:27001 ISMS
- ISO:27017 クラウドセキュリティ
- PCIDSS レベル1 継続監査
- SOC2 セキュリティ及び可用性
- AWS独自監査
- 取引先及び当局からの監査
- 上場前監査におけるITアプローチ
- エンタープライズJSOX監査
- プライバシーマーク

データセンターや科学技術計算向けの
サーバーハードウェア、GPUやコプロセッサを
用いた高密度計算機などの企画・設計に参画

国内最大級のAWSインテグレーターにて、
情報システム、ネットワーク、
セキュリティの3チームを統括し、
情報セキュリティ、個人情報、
PCIDSS管理責任者を兼務

2017年に情報システムコンサルティングを
主な事業とする株式会社クラウドネイティブを創業。
民間企業はもちろん、
経産省ゼロトラストタスクフォースなど、
行政機関における次期ITインフラ実装を担当

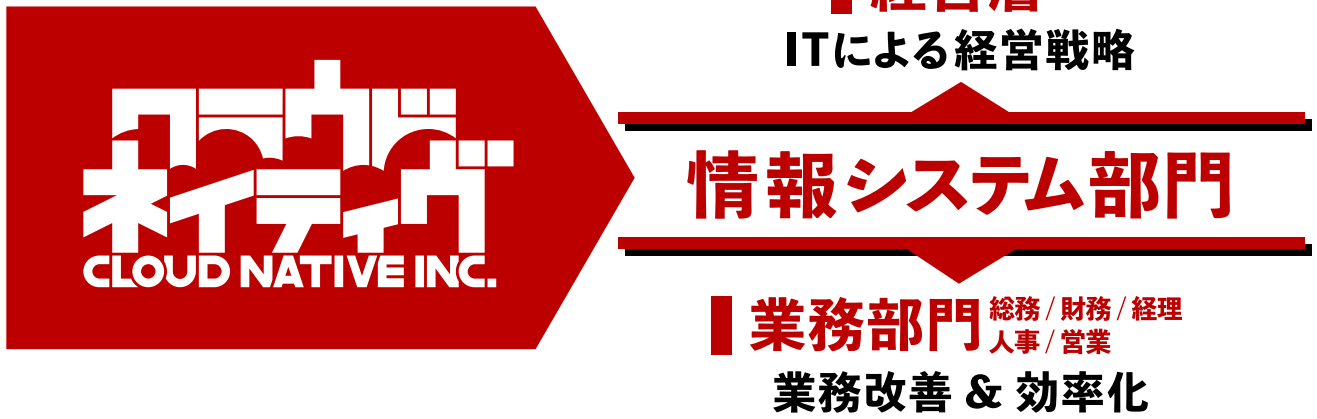
Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

事業内容

情報システム部門様向けのITコンサルティング

企業からITが無くなると事業継続が困難である今の時代、情報システム部門は企業のコアと言えます。

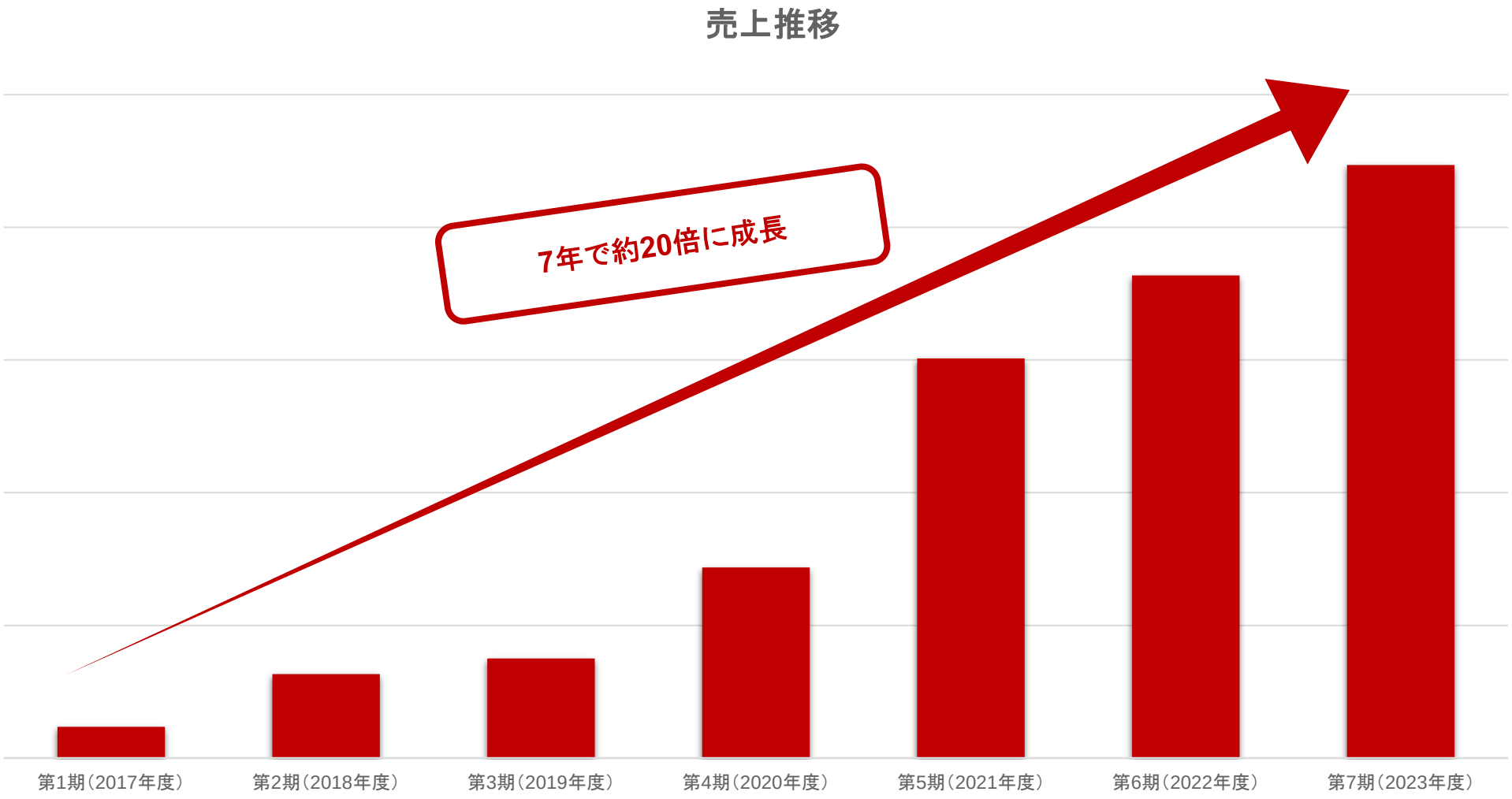
弊社はITによって自在に変化適応できる組織へ再設計し、企業価値を最大化するご支援をします。



CloudNative Inc. All Rights Reserved.
CloudNative Inc. All Rights Reserved.

売上推移

お客様、パートナーの皆様のおかげで、売上は初年度から順調に成長しております。



Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

実績：導入事例 - 官公庁

文部科学省

意外と変われる霞ヶ関 大賞
霞が関初、フルクラウド

霞が関初、フルクラウドで業務・働き方を改革しました。代表が最高情報セキュリティアドバイザーに就任しました。

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

デジタルプラットフォーム
構築事業報告書

ゼロトラストアーキテクチャの概念を取り込んだ環境を構築する実証実験を行いました。

世田谷区
SETAGAYA CITY

生成AI(Azure OpenAI)
構築支援

独自データを組み込んだChatGPTをセキュアに構築し、業務へ組み込む支援を行いました。

CloudNative Inc. All Rights Reserved.
CloudNative Inc. All Rights Reserved.

アジェンダ

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

現状と取り巻く環境の振り返り

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

ポストコロナ環境、いかがお過ごしですか？

急速に広まったリモートワークは、多様な働き方の基盤になりつつある

1 7割のオフィスワーカーがハイブリッドワーク継続の意向

- 2020年4月7日の緊急事態宣言から、34%まで落ち込んだオフィス出社率が、
  新規感染者の増減に合わせて50~70%を推移する状況（日経新聞 2023年4月23日 記事より）
- 25%前後（地域差あり）のオフィスワーカーが100%出社の意向であるものの、
  7割がハイブリッドワークを継続する意向（ザイマックス不動産総合研究所調べ 2023年8月）

2 ネットワーク境界の外で働くことが常態化

- 台風や大雨の影響を受けにくくなり、家族のケアなど多様な働き方ができるようになってきた
- 一方で、出社はなくなっていない
  - 郵送物や発送などの総務の仕事は依然として出社前提

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

情シスの皆さんは、いかがでしたか？

急激な変化への対応を強いられ、限られたリソースで複雑化したシステム環境を維持管理

1 状況に対応するための突貫対応

- 既存設備を使いながらという制約のもと、急な設備増強やシステム導入に対応
- 急な対応であったがため、既存システムと新しいシステムが混在・重複
- 上司から急かされ、現場から突き上げられる中、ベンダーに進められるがままシステムを導入

2 急激に複雑化したシステム環境に追われる日々

- 様々な機器が社内ネットワークやインターネットに接続して、制御が追いつかない
- 半導体需要急増でPCや社給スマホが調達できずに始まった「なし崩しBYOD」に不安
- ようやく調達したPCのキッティングに追われる
- AIを活用って言われても何をすれば良いか分からない

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

意思決定者の皆さんは、どうでしたか？

やむを得なかったとは言え、このままで良いのか？という疑問

1 **コロナで対応した設備の更新をそろそろ考えないといけない**

- 急ごしらえで構成したシステムをそのまま更新して良いのか？投資効果は？
- 機能が重複しているように思える一方で、必要なセキュリティに抜けや漏れはないのか？

2 **なんとかしたいが、人手も頭も足りない**

- 生成AIなど新しい情報が多くて追いつかない。ゼロトラストにすれば良いのか？

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

世の中の脅威は待ってはくれない

サイバーセキュリティに関する問題が引き起こす経済的損失は無視できないレベルに達している

調査・分析の実施主体	対象地域	対象期間	経済的損失の概要	損失額
トレンドマイクロ	日本	2023年【調査時期】	過去3年間でのサイバー攻撃の被害を経験した法人組織の累計被害額の平均	1億2,528万円
警察庁	日本	2023年上半期	ランサムウェア被害に関連して要した調査・復旧費用の総額	26%が100万円未満 19%が100万～500万円未満 25%が500万～1,000万円未満 23%が1,000万～5,000万円未満 8%が5,000万円以上
FBI	米国	2022年	サイバー犯罪事件による被害報告総額	102億ドル
NFIB	英国	2023年	サイバー犯罪による被害報告総額	560万ポンド
Sophos	世界14か国	2023年	直近のランサムウェア攻撃の修復に要した1組織あたりの年間平均コスト	182万ドル
IBM	世界16か国	2023年	組織における1回のデータ侵害にかかる世界平均コスト	445万ドル
Cybersecurity Ventures	世界	2025年【予測】	サイバー犯罪によるコスト	10兆5,000億ドル
Fastl	北米、欧州、アジア、太平洋地域	2023年	サイバー攻撃を受けた企業の損失	過去12ヶ月間収益の9%

令和6年 情報通信白書より

https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r06/pdf/index.html

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

世の中の脅威は待ってはくれない

脆弱性の報告件数は高止まりのまま推移している

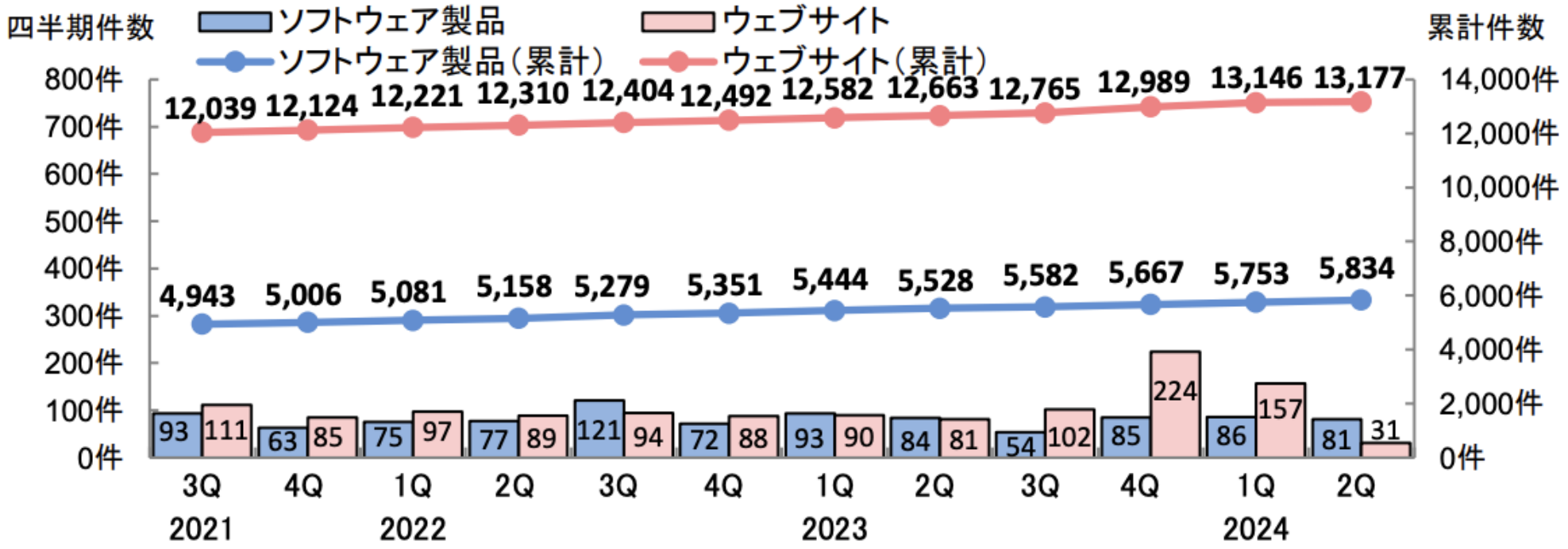


図1−1. 脆弱性の届出件数の四半期ごとの推移

ソフトウェア等の脆弱性関連情報に関する届出状況[2024年第2四半期（4月～6月）] より

https://www.ipa.go.jp/security/reports/vuln/software/2024q2.html

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

世の中の脅威は待ってはくれない

サプライチェーンを通じた攻撃やランサムウェアの被害も他人事ではない状況

1 サプライチェーン (委託先) を通じた侵害の事案

- 2023年11月27日、LINEヤフーは同社のシステムが不正アクセスを受け、外部にユーザー情報などが34万5,735件流出したと公表
  - 委託先にてマルウェア感染の事案と委託先 2 社でのアカウント不正利用によるもの

2 ランサムウェア被害件数は高水準で推移

- ランサムウェア被害の件数が197件と高水準で推移するとともに、データを暗号化する（ランサムウェアを用いる）ことなくデータを窃取し対価を要求する手口（「ノーウェアランサム」）による被害が、新たに30件確認された。

不正アクセスによる、情報漏えいに関するお知らせとお詫び（2024/2/14更新）https://www.lycorp.co.jp/ja/news/announcements/007712/

委託先2社のアカウントを利用した不正アクセスによる、従業者等の情報漏えいに関するお知らせとお詫び　https://www.lycorp.co.jp/ja/news/announcements/007711/

令和5年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について（警察庁）https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R5/R05_cyber_jousei.pdf

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

世の中の潮流も待ってはくれない

高度化する情報セキュリティ、生成AIをはじめとする加速するシステム環境の変化

1 生成AIをめぐる法規制や勧告、注意喚起

- 2024年5月 EU評議会にて、AIシステムの開発や利用に関する世界初の包括的なAI規制法「EU AI Act」が最終承認
- 2024年3月28日 米連邦政府は、すべての米連邦政府機関に最高AI責任者 (CAIO) の任命を義務付けると発表
- 2023年6月 個人情報保護委員会から「生成AIサービスの利用に関する注意喚起等」が公表

2 サイバーセキュリティ人材は11万人不足

- 2023年 ISC2は、Cybersecurity Workforce Study 2023の中で日本におけるサイバーセキュリティ人材は48.1万人いるものの、必要とする数は59.1万人と報じた

How the Economy, Skills Gap and Artificial Intelligence are Challenging the Global Cybersecurity Workforce 2023
https://www.isc2.org/-/media/Project/ISC2/Main/Media/documents/research/ISC2_Cybersecurity_Workforce_Study_2023.pdf

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

不安を煽るホラーストーリなんて耳タコですよ

なんて話はもう聞き飽きましたよね？

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

不安を煽るホラーストーリなんて耳タコですよ

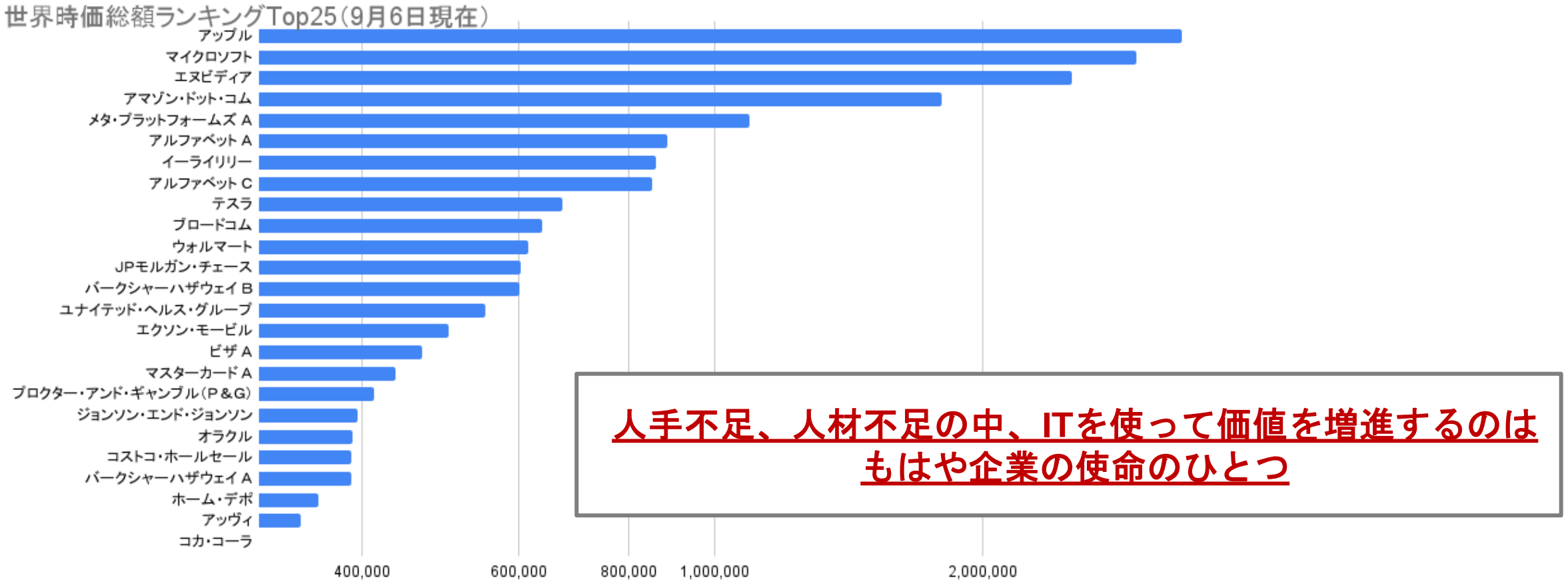
問題はそこじゃない

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

情報システムが組織の競争力になっていることは間違いない

世界時価総額ランキングトップ10は、ほぼテクノロジー企業

トップ25までは、金融や製造、ヘルスケア、製薬だが、彼らのビジネスはITで成り立っている



人手不足、人材不足の中、ITを使って価値を増進するのは
もはや企業の使命のひとつ

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

問題は、システムを使っているのに、一向に楽にならないこと

本来のシステムは、(できなかったことが) より良くできるようになる (≒ 楽になる) ための
ものだったはず。

なのに現状は...

1. 考えることが多すぎる
2. 新しいモノやサービスが増え続ける
3. やることが多すぎる

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

問題は、システムを使っているのに、一向に楽にならないこと

楽にならない要因を少し掘り下げてみます

1 考えることが多すぎる

- ツギハギだらけのシステム構成の整合を取りながらのメンテナンスや脆弱性対応
- 情報セキュリティポリシーが古くて、周囲の環境の変化に対応できていない

2 新しいモノやサービスが増え続ける

- 増え続けるSaaSのアカウント発行・失効運用
- ひたすら散らばり続けるデータ
- 気がついたら似たようなサービスを重複して契約

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

問題は、システムを使っているのに、一向に楽にならないこと

楽にならない要因を少し掘り下げてみます

3 やることが多すぎる

- 古いシステムを無理に使って、構成や運用が歪んでいる
- やめられないシステムや運用が積もっていく
  - 増やすのは楽だが、減らすのは大変
- 手間のかかる定期運用作業
  - VPN証明書払い出し運用、再発行問題
- 情報がどこにあるのかわからなくて、似たようなデータが増えていく
  - ストレージを圧迫するだけでなく、探す時間やデグレードも業務時間を圧迫
- CC文化でメール添付ファイルが爆増し、逼迫したメールシステムのメンテナンスに追われる
  - 古いアーキテクチャに業務の在り方が引きずられ、文化が進歩しない

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

投資するのは間違ってないが、何から手を付ければいいのやら

よくあるセールストーク

これを買うと幸せになりますよ！

同業他社の皆様は
これをよくお求めになります！

→ モノが増えてるやんけ！

時代はゼロトラストですよ！
これを買えばあなたもゼロトラスト！

→ んなわけあるか！

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

投資するのは間違ってないが、何から手を付ければいいのやら

よくあるセールストーク

これを買うと幸せになりますよ！

同業他社の皆様は
これをよくお求めになります！

時代はゼロトラストですよ！
これを買えばあなたもゼロトラスト！

**問題にアプローチ
できていないのが問題**

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

投資する方向は間違ってないが、何から手を付ければいいのやら

では、どうしていくか

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

クラウドネイティブ
CLOUD NATIVE INC.

未来を拓くグランドデザイン

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

未来を拓くために必要なこと

必要なのは、現状把握、全体最適となるシステムデザイン、実現可能なロードマップ

1. 現状把握 (AsIs分析)
2. 全体最適となるシステムデザイン (ToBe)
3. ロードマップ (AsIsとToBeを繋ぐ筋道)

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

未来を拓くために必要なこと

1 現状把握 (AsIs分析)

- **やりたいこと、なりたい姿の言語化**
  - 事柄だけでなく、達成後に**具体的に誰が**どのような姿でありたいか、**なぜならば**を言語化
- **現在保有している情報システムの把握**
  - 情報システムの棚卸し情報に、ライセンス期間や費用、社内の評判やお気に入り度を追加
- **自分たちが守るべき情報資産の把握**
  - ISMS活動でやっている情報資産管理台帳に、所在やアクセスできる部門やデバイスを追加
- **課題や日頃感じている痛みの抽出と把握**
  - 既存のリスクアセスメント結果や問い合わせ一覧の他、日頃感じている不安や課題
  - 手間に感じている業務や運用の一覧（定期・定常・非定常）
  - 社内ポリシーやキッティング手順などの社内ドキュメントから、潜在的な痛みや課題を抽出

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

未来を拓くために必要なこと

イチから全部作るわけではなく、今ある情報を補いながら現状を整理していく

1 現状把握 (AsIs分析)

- **現在保有している情報システムの把握**
  - 情報システムの棚卸し情報に、ライセンス期間や費用、社内の評判やお気に入り度を追加
- **自分たちが守るべき情報資産の把握**
  - ISMS活動でやっている情報資産管理台帳に、所在やアクセスできる部門やデバイスを追加
- **課題や日頃感じている痛みの抽出と把握**
  - 既存のリスクアセスメント結果の他、日頃感じている不安や課題
  - 手間に感じている業務や運用の一覧（定期・定常・非定常）
  - ヘルプデスクの問い合わせ一覧
  - 社内ポリシーやキッティング手順などの社内ドキュメントから、潜在的な痛みや課題を抽出

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

未来を拓くために必要なこと

2 全体最適となるシステムデザイン (ToBe)

取り巻く環境への適合

- 業務で使うネットワークの境界が曖昧になった現在、セキュリティの防衛ラインは、**IDとエンドポイント**にシフトしていくのは当然の帰結
- 情報にアクセスできるデバイスや人 (情報の流通経路) を整理し、セキュリティ機構を配置して統制していく

なりたい姿や課題を踏まえたコンセプト

- できなかったことが、安全にできるように
- 手間がかかっていた業務を、楽に安全にできるように
- 仕事のための仕事を、価値を創造する仕事に置き換えていく

導き出される
ひとつの形

ゼロトラストの概念を織り込んだシステムデザイン

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

未来を拓くために必要なこと

2 全体最適となるシステムデザイン (ToBe)

- **ゼロトラストの概念を織り込んだシステムデザイン**
  - 決め打ちではなく、運用体制やユースケース、組織やビジネスの特性を考慮した製品選定と合理的な理由に基づいた機能構成
- **なぜならばの追求**
  - 要件の根拠を照らし、合理的な実装方式による解決を志向
  - 根拠が弱い・曖昧・効果が薄い場合は、要件自体の見直しも視野に入れる
- **シンプルで使いやすいシステム**
  - 使いにくいシステムは、シャドーITの温床になる
  - 機能の置き替えと利用サービスの統廃合による継続的なコスト最適化
  - 一方で、人気があるツールやお気に入りの機能はそのまま使い続ける

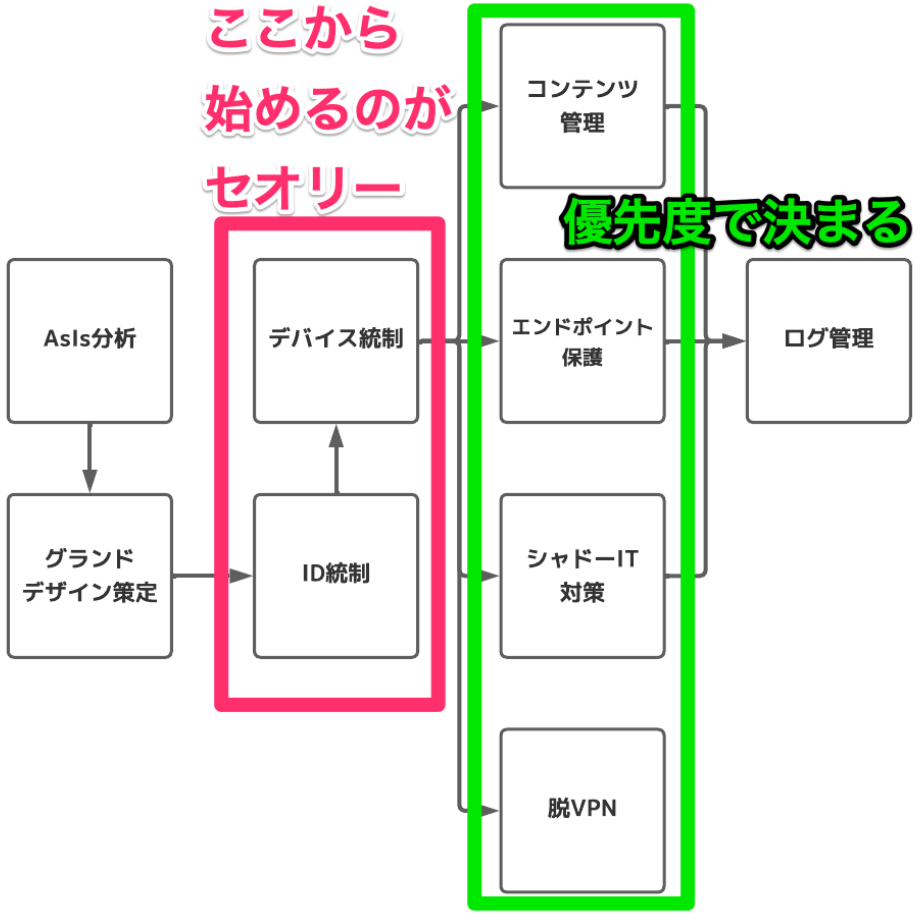
Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

未来を拓くために必要なこと

現状や体制などの現状把握 (AsIs分析)結果を踏まえて、セオリーと折り合いを付けながら
実現可能なロードマップを引く

3 ロードマップ (AsIsとToBeを繋ぐ筋道)

- セオリーは、ID統制 ⇒ デバイス統制から始める
- 事情によって先の工程を先行させる場合あり
  - その際は、一時的な制約事項がどのタイミングで回収できるかを検討して、盛り込む
- システムの追加だけでなく、廃棄のロードマップも同時に引いていく
- 体制や予算、キャッシュアウトのタイミングを考慮して、実装と展開のスケジュールを検討
  - 要員計画も検討の対象になる



Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

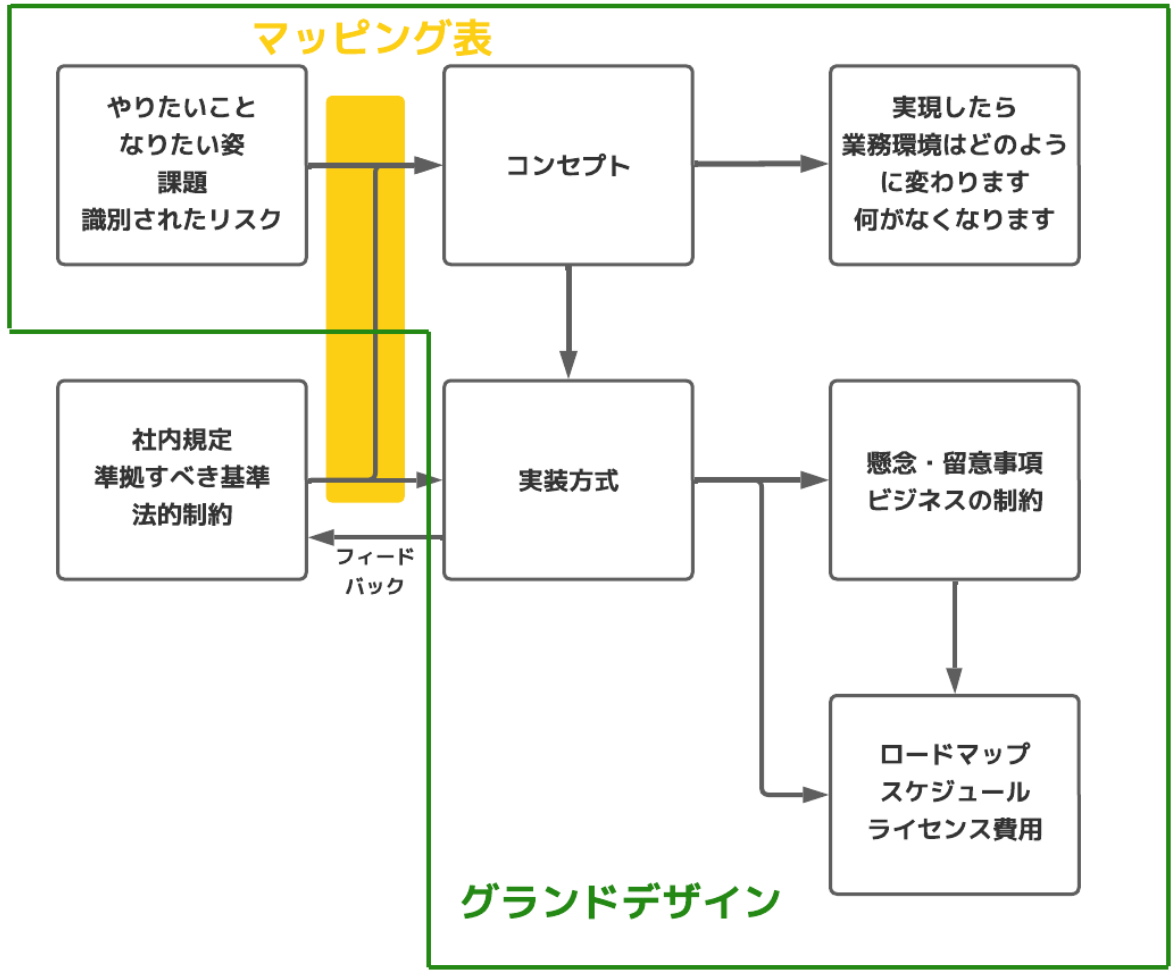
グランドデザインってどんなものなの？

チラ見せします

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

グランドデザインってどんなものなの？

グランドデザインを構成する要素の相関関係 (概念図)

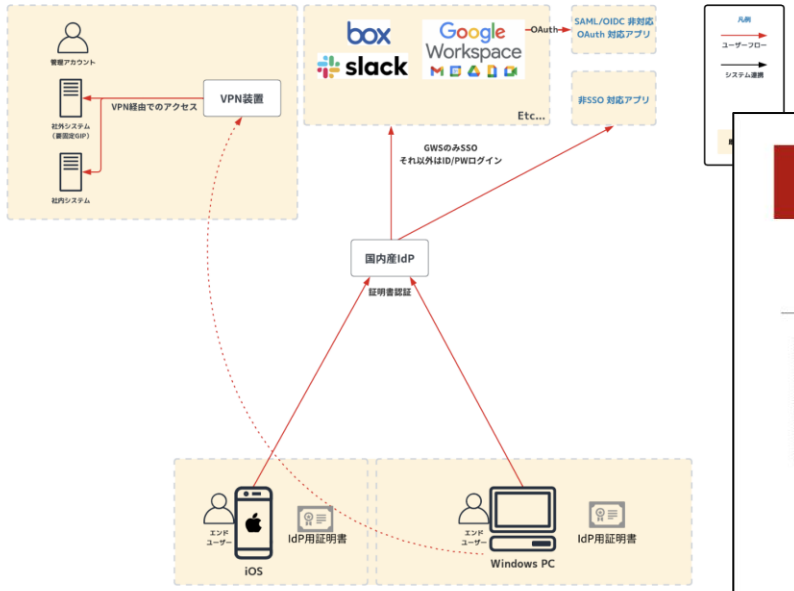


Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

グランドデザインってどんなものなの？

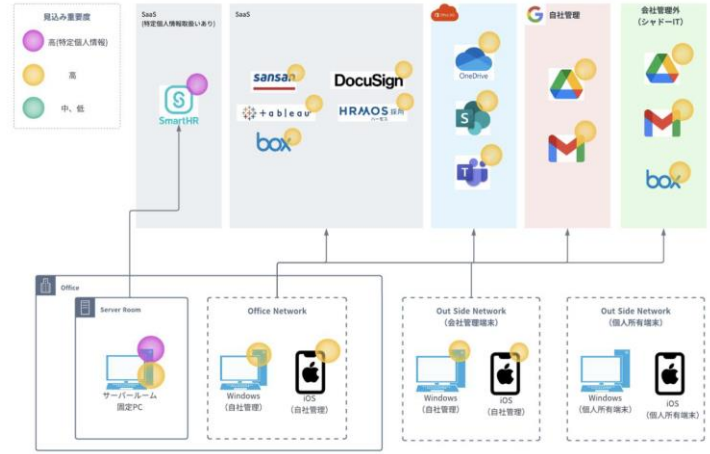
現在のシステム構成とデータの流通経路の整理と可視化

As-Is構成図



データ流通経路

データの分類と流通経路の整理



読み解いたポイント

A. 関係するデバイス全てに見込み重要度「高」のデータ保存される状態
B. 自社テナント以外のSaaS等に情報が流通し得る状況

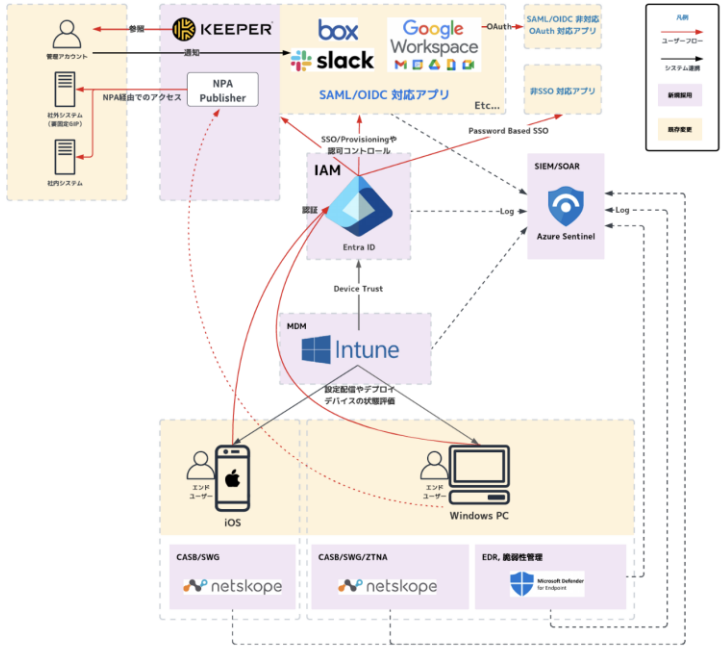
Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

グランドデザインってどんなものなの？

ToBeのシステム構成と実現した後の情報の流通経路がどのような形になるのか

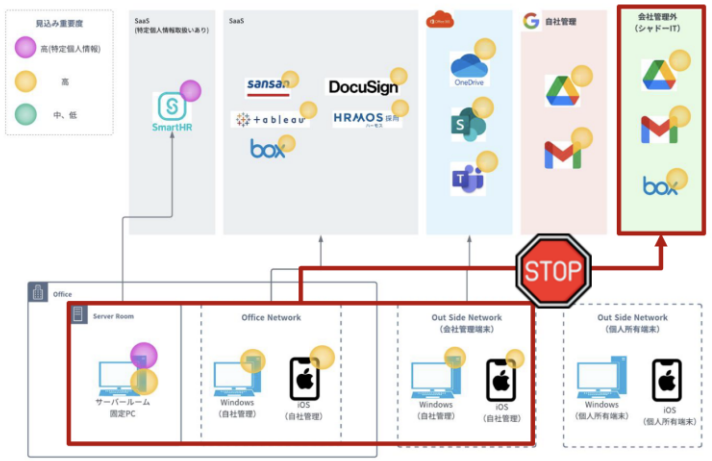
To-Be構成図



情報の流通制御

情報の持ち出し対策のために、自社テナントクラウドをホワイトリストに登録し、自社テナントクラウドサービス以外のクラウドへのアクセスを不可にする。

構成概要図



構成と運用のポイント

- 会社貸与Windows / iOS にNetskopeを配信。
- 制御方針は以下を想定。
  - 自社テナントクラウドをホワイトリスト登録してNetskopeで制御させることで、情報の意図しない範囲への流通リスクを低減させる。
  - ホワイトリスト登録以外のサービスに関しては、Webサイトを含めてファイルアップロードを制限する。
  - フィッシング等の脅威から保護するため、業務上好ましくないカテゴリへの接続を禁止する。
- 各SaaSのログをMicrosoft Sentinelに集約し、アラートを通知できるようにする

なぜならば

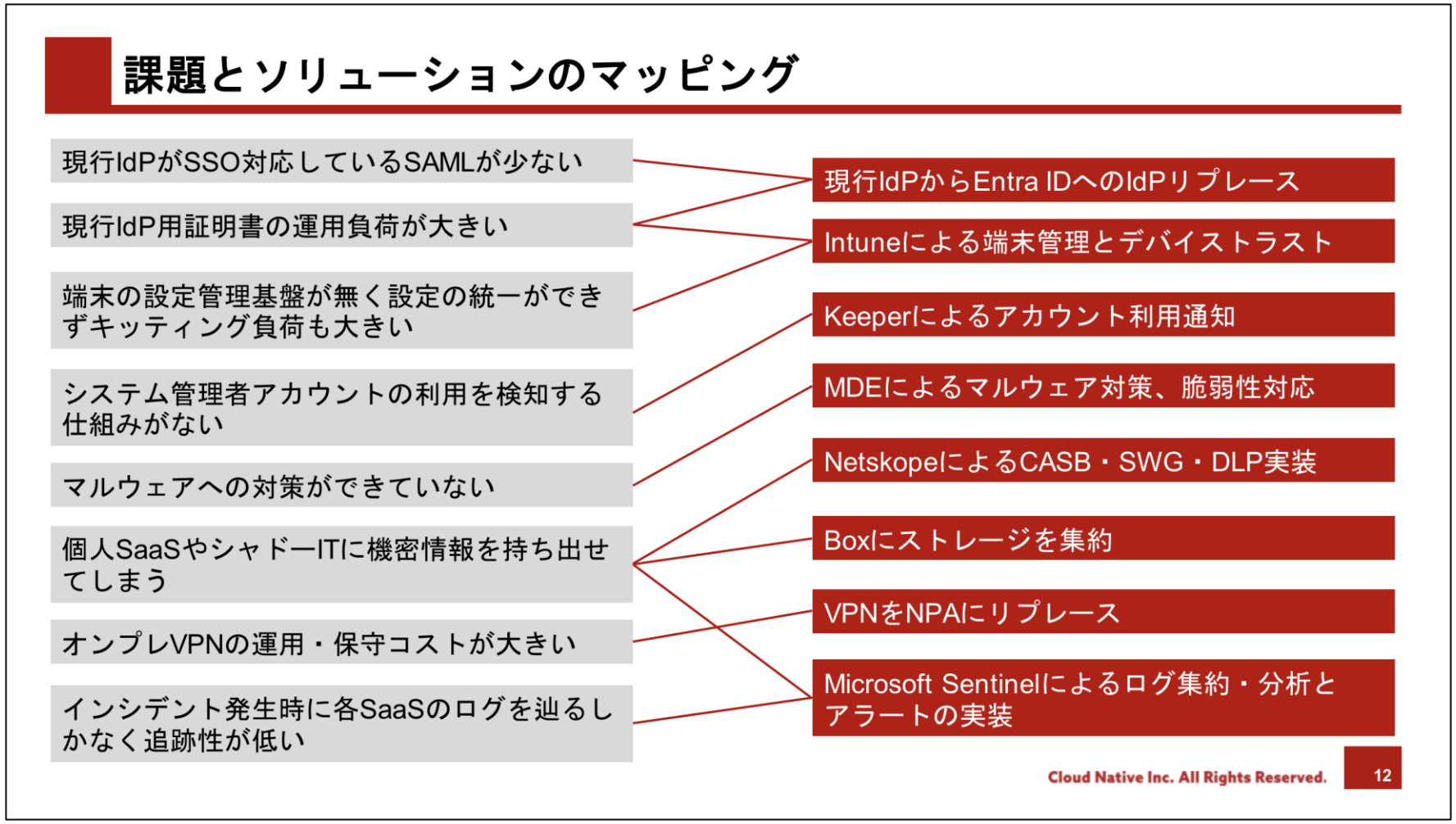
- シャドーIT（私用SaaS）など、自社の管理が行き届かない領域に自社の情報を流通させたくないため。

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

グランドデザインってどんなものなの？

課題とソリューション (解決策) のマッピング



Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

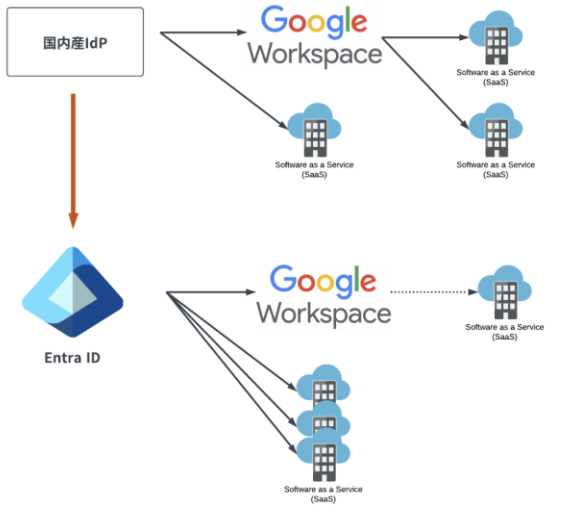
グランドデザインってどんなものなの？

ソリューション (解決策) の構成と運用のポイントと「なぜならば」の整理

現行IdPからEntra IDへのIdPリプレース

IdPを現行の国内産IdPからEntra IDにリプレースし、各SaaSとSSOを構成する。

構成概要図



構成と運用のポイント

- 下記の対応を実施して現行の国
  - Entra IDを導入し、現行Id IDとのSSOに切り替える
  - GoogleアカウントでのOA 用する。

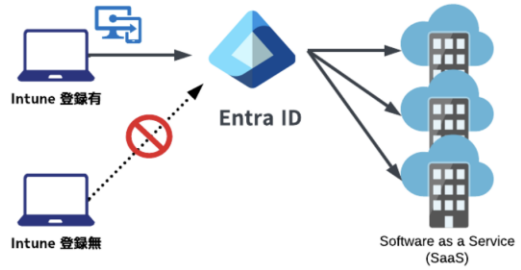
なぜ

- 現行IdP用証明書によるデバイス 掛かる工数が組織拡大に伴うボ
- 現行国内産IdPとSSO・プロビ 少ないため

Entra IDとIntuneによるデバイストラスト

Entra ID と Microsoft Intune の連動機能を用いて、デバイス識別による強固な認証を行う。

運用イメージ図



構成と運用のポイント

- Intune コンプライアンスポリシーと組み合わせ、端末の状態（エンティティ）を含めた認証制御を実施する。

なぜならば

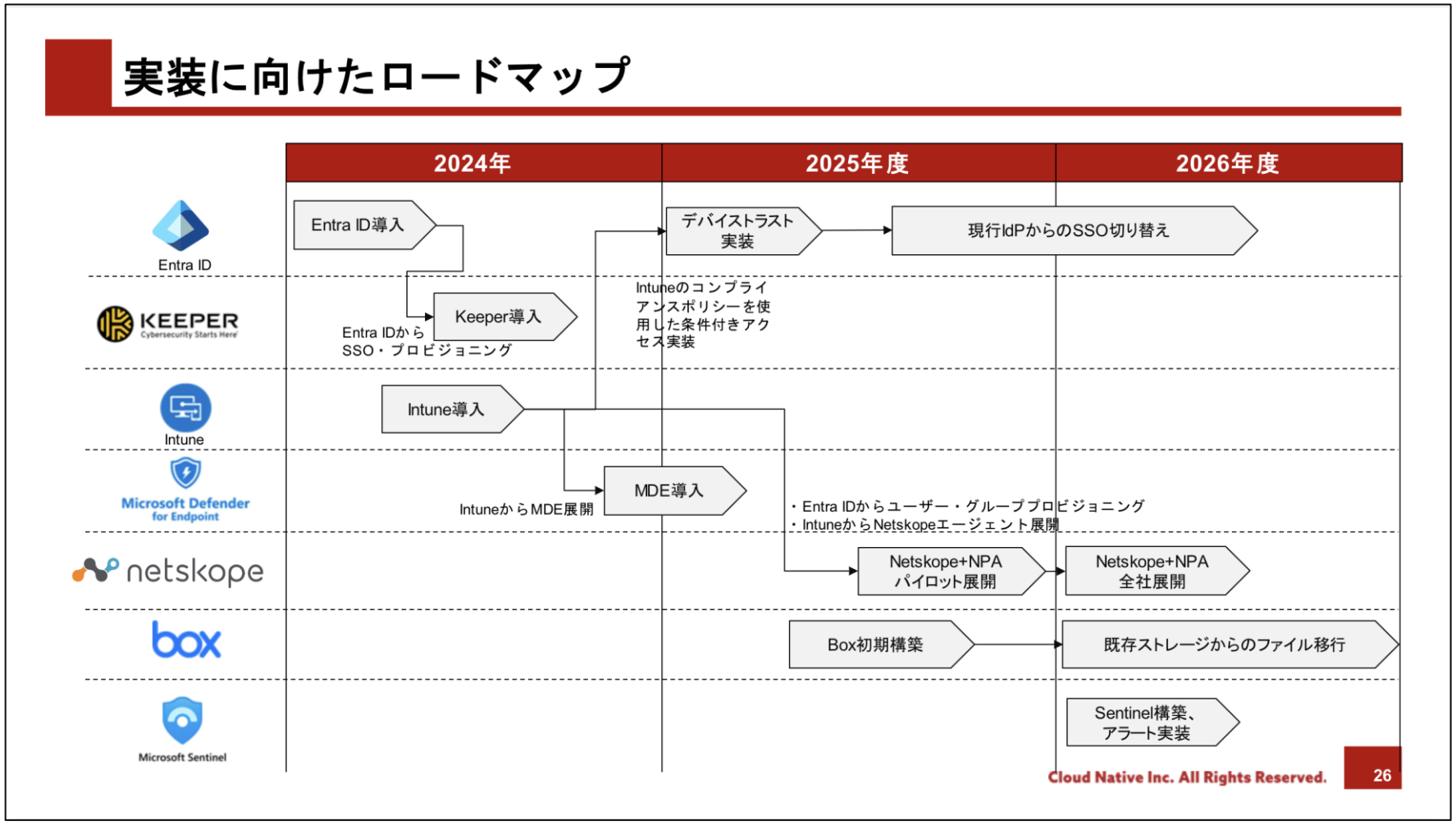
- 現行IdPによる証明書認証であってもデバイス識別は可能だが、証明書の有効期限に伴う入れ替え作業といった管理効率性を鑑みた際、Intune によるデバイス識別を行う方式へシフトする方が組織拡大が見込まれる環境において合理的であるため

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

グランドデザインってどんなものなの？

実装時期と達成できる事柄の順序を示したロードマップ



Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

こういうことをやる会社って、最近よくありますよね？

絵に描いた餅に
なるんじゃないですか？

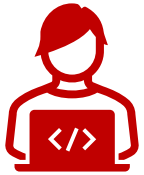
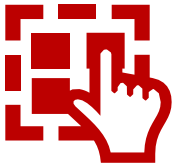
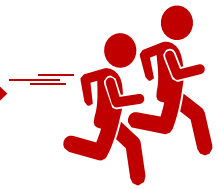
Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

クラウドネイティブ
CLOUD NATIVE INC.

未来への水先案内人

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

クラウドネイティブの強み

1.  圧倒的な経験値
2.  シームレスなコミュニケーション
3.  ベンダーフリーと現物主義
4.  自立を目標とした支援

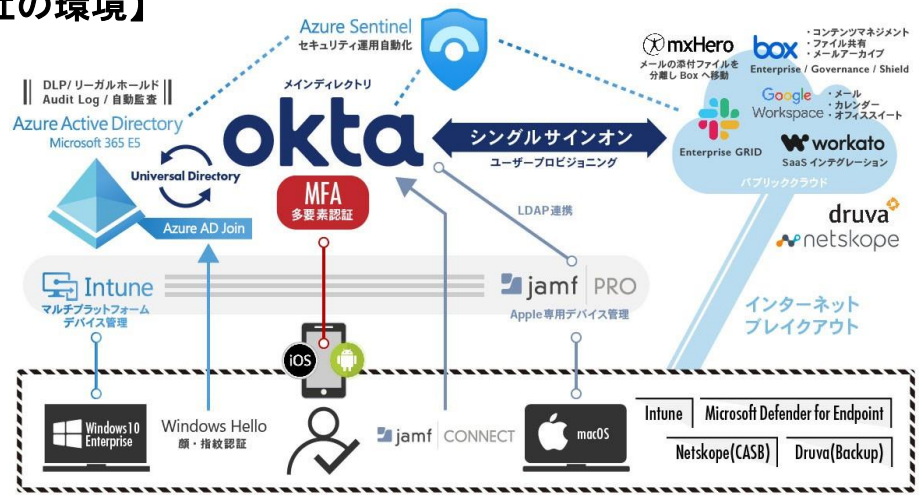
Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

クラウドネイティブの強み：圧倒的な経験値

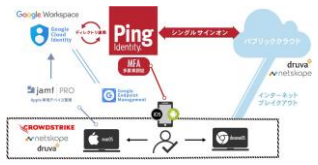
**弊社では2017年の設立以来、働き方改革関連法の施行、新型コロナウイルスの蔓延以前から
クラウドサービスを活用して、フルリモートワーク、フルフレックスでの働き方を採用してきました。**

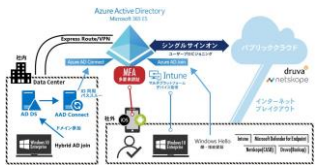
**更に数百社のお客様の情報システム部門様をご支援してきた実績も合わせて、
クラウドサービスの活用においては、国内随一の知見と実績を持ち合わせております。**

【弊社の環境】



【その他デザインパターン】





×

【支援実績】

ABEJA / ADK 株式会社ADKクリエイティブ・ワン / Akatsuki / ALL CONNECT / bellFace
Creatures / Demaecan / e-Agency / enigmo / folio
FUJITEC / HERP / JAPAN INFRA WAYMARK / 経済産業省 / LIXIL Link to Good Living
三菱重工 / MIXI / MIZUHO みずほリサーチ&テクノロジーズ / Money Forward / 文部科学省
NIKKO CHEMICALS / The Pokémon Company / 人とIT、そのスキマに。Power Solutions / RakSul / SHIONOGI
SmartHR / STORES / SOGO DESIGN / TEPCO / TOEI ANIMATION

CloudNative Inc. All Rights Reserved.
CloudNative Inc. All Rights Reserved.

クラウドネイティブの強み：シームレスなコミュニケーション

弊社は、設立以来フルリモートワーク、フルフレックスでの働き方を採用してきたため、
コミュニケーションの重要性を強く認識しております。
お客様とも、迅速で緊密な、リモートでありながら常駐しているのと遜色ないコミュニケーションを実現します。

クラウドネイティブ全員でお客様をご支援

弊社から導入いただきましたクラウドサービスに関しましても
上記の対応で高品質なサポートをいたします。

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

クラウドネイティブの強み：ベンダーフリーと現物主義

弊社は特定のベンダーとの資本関係はなく、ノルマや専業の制約などの縛りのある契約をしません。
実際に弊社のエンジニアが検証した上で、国内外のあらゆる製品に対してフラットに評価を下し、
お客様の環境や理想の姿に合わせた、現時点で最適な組み合わせでのご提案と導入支援をします。

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

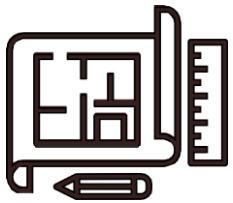
クラウドネイティブの強み：自立を目標とした支援

弊社はいずれお客様とのご支援の契約が終了することを前提にご支援いたします。
弊社が抜けた際に、お客様が自社で運用が出来ないようなシステムやサービスは提案いたしません。

お客様自身が現状の調査から理想の姿を描いていく過程で自社のインフラを掌握し、
本当の意味でのベンダーコントロールが可能な自立した組織を目指します。

ヒアリング	現状の課題As-Is	理想の姿To-Be	導入支援
あるべき姿の明確化	システムの調査と把握	現実的で理想的な設計	プロジェクトの伴走






CloudNative Inc. All Rights Reserved.
CloudNative Inc. All Rights Reserved.

導入事例

株式会社 マキタ
MAKITA CORPORATION

株式会社マキタ
情報企画部 部長
高山 百合子 氏

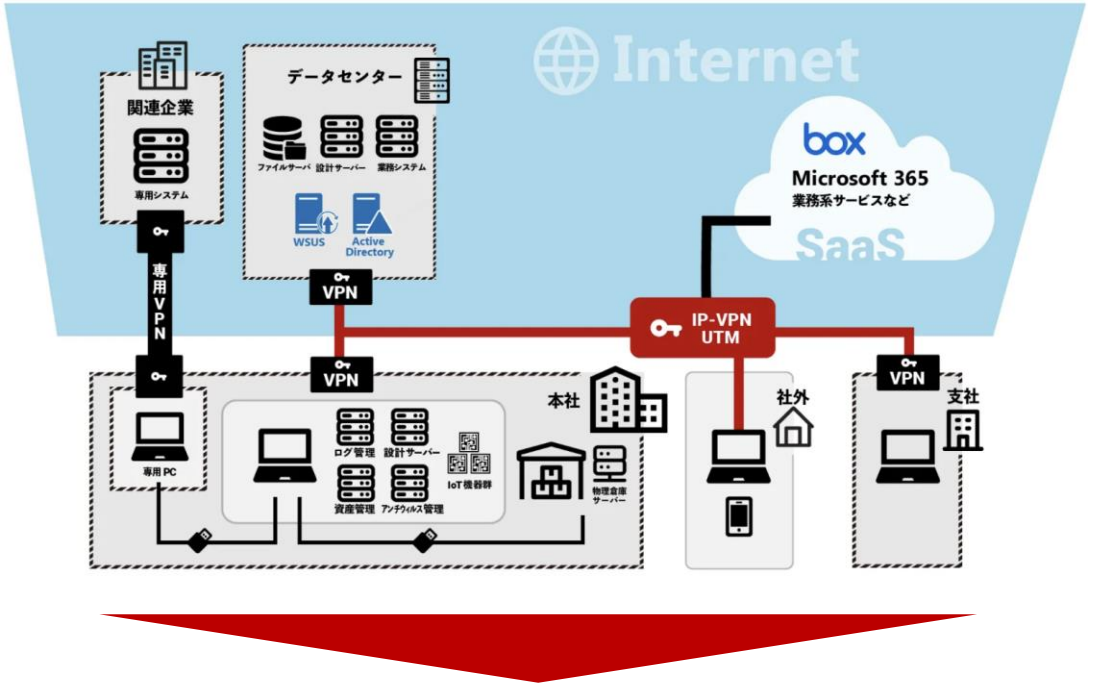
株式会社マキタ
情報企画部
吉井 誠一 氏

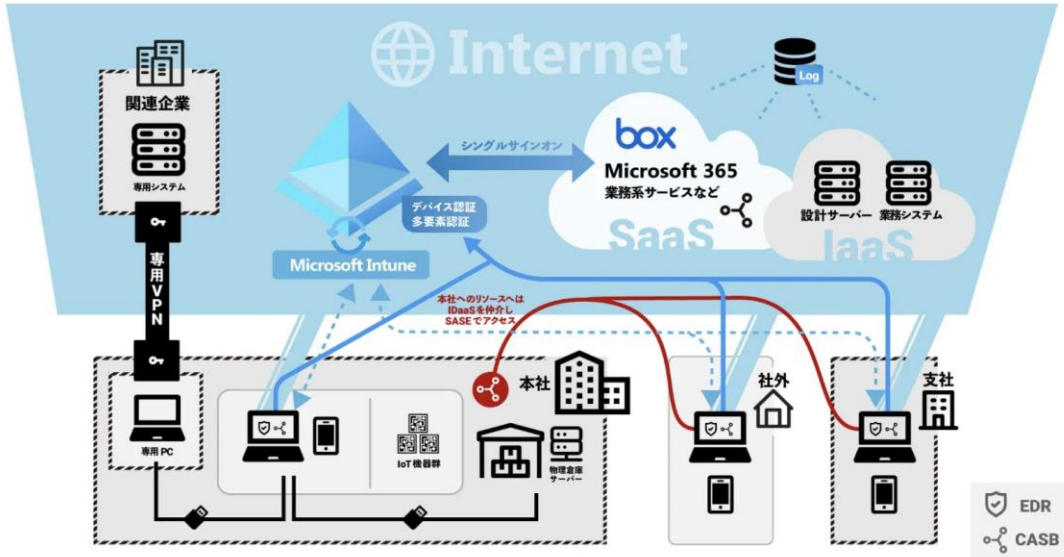
株式会社マキタ 様

四国に本社・工場を持つ、船舶用小型ディーゼルエンジンメーカー。小型と言っても高さ8m、重さ200tと3階建てのビルにも匹敵する巨大さ。創業から100年を超える歴史の中で培った高い技術力を武器に、小口径では世界トップシェアを獲得している（経済産業省2020年版グローバルニッチトップ企業100選に選出）。

エンジンの寿命は20年以上。その間、部品在庫を持ち続け、要請があれば世界中のどこにでも駆けつけ技術サポートを提供する。マキタのエンジンは、世界の海を駆け巡る貨物船の動力を生み出す「心臓」として、グローバルな物流を支えている。

https://www.makita-corp.com/





https://cloudnative.co.jp/interview/makita

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

クラウドネイティブ
CLOUD NATIVE INC.

未来へバトンタッチ

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.

この後も、興味深いお話が続きます！　チャンネルはそのままで！

16:25-16:45

ランサムウェア対策に効果的なゼロトラストの考え方

ゼロトラストという言葉がブームになって数年。既に概念を語るフェーズから、実際に運用に入っている企業も少なく有りません。しかし、一方でランサムウェアの被害報道が収まる気配がなく、侵入の原因として「VPNからの侵入」というのがもはや定番となっています。
本セッションではYahooニュースで公式コメンテータを務める有識者から、ランサムウェア対策に焦点を絞った「ゼロトラストの考え方」について解説します。

Netskope Japan株式会社

エバンジェリスト

パートナー営業ソリューションエンジニア

大元 隆志 氏

16:45-17:00

Netskopeの活用に向けて

Netskopeは多機能であるゆえに、Netskope後の運用でお困りのお客様が少ならずいらっしゃいます。
本セッションでは、Netskopeにおける導入ステップから運用サポートまでを詳細に解説します。

東京エレクトロン デバイス株式会社

CNBU CN営業本部

パートナー営業部 第2グループ

松村 光敏 氏

CloudNative Inc. All Rights Reserved.
CloudNative Inc. All Rights Reserved.

https://cloudnative.co.jp

ITの世界だからこそ、人と人とのコミュニケーションを最重要視し、
全員が前を向いて楽しく仕事を進められる世界を作るのが最大のミッションです。

株式会社クラウドネイティブ
Cloud Native Inc.
設立：2017年5月
所在地：〒106-0032 東京都港区六本木1-4-5
アークヒルズサウスタワー 16F
代表電話番号：050-1791-0450
Eメールアドレス：info@cloudnative.co.jp

Cloud Native Inc. All Rights Reserved.